

合意形成の軌跡 ～管理運営計画策定委員会において実施したワークショップ・ニーズ調査～

◆ ワークショップの開催 (4～10月開催)

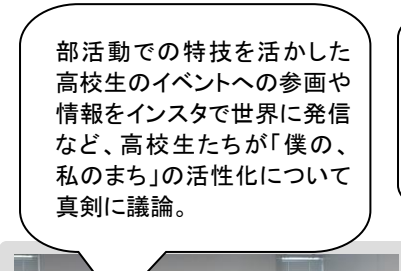
○市民の各分野から若手を中心に参集。15人のメンバーが昼の部、夜の部に分かれて1回2時間、合計4回にわたり、市民目線で活発に議論しました。メンバー自らが、自らの手で先進事例を調査し、見識を深めました。回を重ねるにつれてメンバー間の議論も深化し、管理運営計画の素案作成の先導役として、最後までご活躍いただきました。



◆ U-18ワークショップの開催 (3月・7月開催)



桜高生は公共施設やショッピングセンターなどで、放課後を有意義に過ごす『サードプレイス』を学校周辺に求めていることが分かりました。



部活動での特技を活かした高校生のイベントへの参画や情報をインスタで世界に発信など、高校生たちが「僕の、私のまち」の活性化について真剣に議論。

◆ ニーズ調査の実施 (8月)

三日市商店街の空き店舗を借りて、黒部市立地適正化計画や(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想のパネル展を同時開催。2日間で263名の方から回答いただき、そのうち51.3%の方が交流センター事業を『知っている』と回答。アンケート回答者には図書館のリサイクル本をプレゼントしました。



経過と今後の予定

【経過】

- 平成29年6月 「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想」市議会議決
- 平成30年3月 (仮称)くろべ市民交流センター管理運営計画」第1回策定委員会
- 平成30年4月 第1・2回ワークショップ
- 平成30年5月 第2回策定委員会
- 平成30年6月 先進地視察、第3・4回ワークショップ
- 平成30年7月 第3回策定委員会、U-18ワークショップ
- 平成30年8月 市民ニーズ調査(納涼楽市)、第5・6回ワークショップ
- 平成30年9月 第4回策定委員会
- 平成30年10月 第7・8回ワークショップ
- 平成30年11月 第5回策定委員会、講演会開催「半端ない図書館」わたしのサードプレイス 機能融合施設について」
- 平成30年12月 第6回策定委員会
- 平成31年2月 第7回策定委員会

【今後の予定】

- 平成31年2月22日～3月23日 パブリックコメント
- 平成31年3月26日 第8回策定委員会(答申予定)



(仮称)くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会

項目	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降
①用地境界・地形測量業務委託	●————●			
②基本設計・実施設計業務委託			●————●	
③地質調査業務委託			●————●	
④消雪用水源調査業務委託			●————●	
⑤解体工事・建設工事				●————●
⑥管理運営計画策定業務委託	●————●			
⑦その他開業準備業務委託(図書館) 図書館システム・配架計画・引越計画・組織体制整備等開業支援 等		●————●		

(仮称)くろべ市民交流センター管理運営計画(案) 概要版

平成31年2月 黒部市教育委員会

【目的】

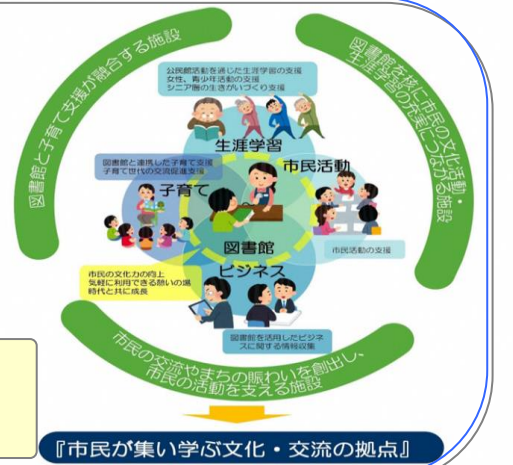
(仮称)くろべ市民交流センターについては、都市機能の充実と中心市街地の活性化を図り、居住誘導を促すとともに、図書館機能・子育て支援機能をはじめ生涯学習・市民活動支援・ビジネス支援機能の融合により、新時代の多様な価値観を認め、新たな文化の創造を促すことで都市の魅力を高め、選ばれる都市として本市の価値の向上を目的として整備するものです。本管理運営計画は、事業内容・施設内容をはじめ、様々な検討を加えながら、生涯学習、市民交流及び市民協働参画の推進並びに新庁舎と連携してのまちなかの賑わい創出を図るため管理運営の方向性や計画をとりまとめたものです。

【(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想(H29.6議決)】

『市民が集い学ぶ文化・交流の拠点』を基本コンセプトとして、図書館を核に、子育て支援や未来の黒部市を担う子どもたちの育成、まちの賑わいや活性化を推進するための交流促進や活動団体等への支援、生涯学習や情報の収集・発信・保存など、市民の知的好奇心を満たす多機能を有する交流拠点づくりを行います。

- ①地域の交流・情報センターとして機能性あふれる図書館を核に、市民の文化活動、生涯学習の充実につながる施設
- ②図書館と子育て支援が融合する施設
- ③市民の交流やまちの賑わいを創出し、市民活動を支える施設

- 【基本構想メモ】
- (1)地上4階建て(図書館を3・4階に配置)
  - (2)建築面積1,600㎡、延床面積6,400㎡、敷地面積5,366㎡
  - (3)事業費(目安)27～28億円



● (仮称)くろべ市民交流センター管理運営計画 メインコンセプト ●

『わたしの“サードプレイス”』～家でも、学校や会社でもない、第3の居場所～

- ①居心地の良い自分の居場所…気軽に寄り、集える場所、つい時間を忘れるくらい長く滞在でき、いつでも戻ってきたくなる場所
- ②市民生活を豊かにする場所…「子育て」「結婚」「セカンドライフ」などライフステージに応じた問題解決に役立つ場所
- ③自らの可能性に気づき、挑戦する舞台を探す場所…進路(進学・就活等)について探究する場所

⇒“サードプレイス”として、**新たな価値の創造を『アシスト』**する。

- ①市民生活を豊かにする「本・情報・知の拠点」として、人生の課題・問題の解決、進学・就業・子育てなど若年層の巣立ち、あるいは生涯学習・自己研鑽をアシストする。
- ②「人と人」「人と本」「人と情報」を結ぶとともに、仲間探いや各世代の交流により、知恵袋の「人材図書館」として、互いに成長することから生まれる価値や創造、まちの賑わいや魅力づくりをアシストする。
- ③誰もがいつでも気軽に行ける、また行きたくなる憩いの場所として、滞在したくなるイメージを醸出し『わたしの“サードプレイス”』というコンセプトをもとに、萌え出る知的探求心をアシストする。

①『ライフステージ』をアシスト(図書館機能)

②『子育て』をアシスト(子育て支援機能)

●子育てに関する様々な相談に応じるとともに情報収集や親同士の交流ができ、親子がふれあい、安心して一緒に過ごせる場所を提供する。

③『生涯学習』をアシスト(生涯学習機能)

●様々なライフステージに応じた活動を通して、人間性・道徳性を育み、豊かな人間発達の拠点として、市民の生涯学習をアシストする。

④『市民活動』をアシスト(市民活動支援機能)

●市民が主体的にまちづくりに関わり、人々が交流し、新しい価値観を探求し、新しい文化の創造力・発信力、社会への適応力を育むなど市民活動をアシストする。

⑤『ビジネス』をアシスト(ビジネス支援機能)

●学生のうちからあらゆる可能性を引き出し市民の活躍の舞台にナビゲートする知恵袋の拠点として、関係機関連携のもと、進学・就活等など巣立ちに寄り添い、明日を切り開く力を育むなど青少年やビジネスをアシストする。

# ● 事業内容について ●

## 1. 図書館機能

項目	開業に向けての主な検討事項など
(1)開館時間	①日曜日～木曜日 9:00～19:00、金曜日・土曜日は 9:00～20:00、火曜日を休業として検討する。 ②図書館閉館後の学習場所は、フリースペース、共用スペースの活用を検討する。
(2)サービス	①質問、相談コーナー(レファレンスサービス)は、利用者の多様なニーズに対応できるサービスに努める。 ②自動貸出機(ICタグ化)を設置し、利用者のプライバシーを保護する。 ③利用者一人ひとりが、静かな環境の中で集中して読書や学習できるスペースの提供に努める。また、センター内のフリースペース、共用スペース等を学習の場として活用し、にぎやかな環境で学生等が読書や学習、交流できる場の提供を検討する。 ④学校、社会教育施設、文化施設等の他機関連携を図り、広く情報提供していく。 ⑤国会図書館デジタル送信サービスの導入を検討する。
(3)資料	①様々な課題解決に対応できる資料収集を行う。 ②子どもたちの豊かな感性を育み、子どもの成長に役立つ資料収集に努める。 ③雑誌の購入については、スポンサー制度の導入を検討する。 ④黒部に関係する資料を積極的に収集・展示する。 ⑤図書館が所蔵する郷土資料等のうち一定の基準で選定したものについて、デジタルアーカイブの運用を検討する。
(4)集会活動等	①常に情報の発信拠点として、時代のニーズに対応した企画展を実施する。 ②交流センター内の連携による教室の開催、子育て支援と連携したサービス、中・高・大学生等への就職情報の提供などを検討する。
(5)広報	①既存媒体の活用のほか、月刊誌の発行を検討していく。 ②子どもから高齢者まで、さまざまな年齢層にわかりやすい表示による発信を行う。
(6)ボランティア等の活用	①図書館ボランティアや学生ボランティアの活用を検討する。
(7)ビジネス支援	①商工会議所やハローワークとの連携による就職支援情報の提供を検討する。 ②図書館機能において、ビジネス関連本のコーナーの設置を検討する。
(8)子育て支援	①子育て支援センター等との連携により、書籍を活用した育児講座を開催する。 ②親子がゆったり安心して過ごすスペースの設置を検討する。 ③飲食スペースや授乳室を設置する。

## 2. 子育て支援機能

項目	開業に向けての主な検討事項など
(1)子育て相談	①月～土(火曜日を除く)9:30～16:00(電話相談は、8:30～17:00)について調整する。
(2)専門家による相談	①各種相談について、毎月1回ずつ1時間半程度(10:00～11:30)開催を検討する。 保育士、保健師、歯科衛生士、栄養士による子育て相談 こども家庭相談員による子育て相談
(3)その他	①育児サロン・子育てサークルへの支援を検討する。 ②乳幼児を対象とした遊びの場の提供(キッズコーナー、ランチコーナーの提供について検討する。) ③育児講座の実施、子育て情報の提供

## 3. 生涯学習・市民活動・ビジネス支援機能

項目	開業に向けての主な検討事項など
(1)生涯学習機能	①現在の働く婦人の家や三日市公民館の自主サークル活動への支援 ②貸館時間 9:00～22:00、貸館事業の閉館日の設定については、開業までに調整していく。 ③現行の「三日市公民館」に関する機能を引き継ぐ。
(2)市民活動支援機能	①貸館時間 9:00～22:00、貸館事業の閉館日の設定については、開業までに調整していく。 ②貸室等の提供、物販等営利事業者へのスペース提供(有料) ③フリースペース、飲食スペース・自販機コーナーの提供
(3)ビジネス支援機能	①ビジネス書等の配置、ハローワーク情報や社会人等への作業スペース等の提供を検討する。 ②交流センター会議室等の「進学セミナー」「就職セミナー」「起業セミナー」などへの活用

## 4. 機能融合による事業

5機能(図書館機能、子育て支援機能、生涯学習機能、市民活動支援機能、ビジネス支援機能)に関し、(仮称)くろべ市民交流センターにおいて、次のような機能融合による事業の実施を検討します。

項目	開業に向けての主な検討事項など
(1)機能融合に向けての対応	①学習室利用可能時間の延長 ・図書館の学習室以外に、フリースペース、共用スペース等を利用した学習等の場を設置し、利用可能時間の延長(9:00～22:00)等を検討します。 ②館内の会議室を一元管理し、使用目的により柔軟に対応します。 ③配食活動等で使用する調理環境、道具等を他の機能でも活用することにより、コストやスペースを効率的に使用することを検討します。 ④青少年支援(進路・進学・就活) ・図書資料「ヤングコーナー」を通じて、学生(中高生・大学生等、帰省中の大学生等)や若年層(UJターン)への進路・就業に関する情報提供、交流の場の創出を検討します。 ⑤市内の他施設との情報共有体制を構築し、貸室事業をスムーズに行うための体制について検討します。
(2)ゾーニング・運用	①各種スペースの提供 ・センター内のフリースペース、共用スペース等を学習の場、ビジネス支援の場として活用することで、従来の静かな学習室のほかに、賑やかな環境で学生等が自由に読書や学習に利用したり、議論や交流したりできる場を提供します。 ②子育て支援 ・親子がおしゃべりしながらゆったり安心して過ごすスペースの設置を検討します。 ・親子で読書できるコーナーの設置を検討します。
(3)連携事業	①資料 ・ビジネス関連(進学本・就活本・起業本等)コーナーの設置や企画展の検討 ②広報 ・交流センター内の様々な活動について、月刊誌等の発行や SNS を利用した情報提供の検討 ・図書館と子育て支援センター共同での読み聞かせイベントの開催の検討 ③図書館の所蔵資料(児童図書・絵本・子育て参考図書)の活用を検討 ④調理スペースでの図書館の書籍を活用した離乳食教室や幼児向け栄養教室の開催の検討 ⑤父親を対象とした育児講座を土曜日に開催することを検討 ⑥図書資料や会議室を活用してもらうことで、多様な自主サークル活動への支援を検討 ⑦他機関・民間団体等の主催による定期的な「進学セミナー」「就職セミナー」「起業セミナー」等の開催会場としてのスペース提供

## 5. その他

項目	開業に向けての主な検討事項など
(1)市民参画の推進	①市民・各種団体と市民交流センターとの連携により、市民が管理運営に参画できる仕組みづくりを構築し、多くの担い手との協働による運営を推進します。 ②市民参画の段階 第1段階「利用者としての参加」 第2段階「参加型事業への参加」 第3段階「事業企画運営・推進役としての参画」
(2)物販	①現行の市民会館の機能を引き継ぎ、貸室等の提供、物販等、営利事業者へスペースを提供する。(有料)
(3)他機関との連携	①市役所やコラーレ等、他組織と機能分担し、情報ライブラリー等の情報共有を図る。
(4)商店街との連携	①黒部市立地適正化計画を踏まえ、鉄道・バスの公共交通ネットワークの構築や居住誘導を図る。 ②シニア世代の経験・知識を活かした若年層への支援・育成、新たな価値と地域力の創造拠点となり、若年層が成長し人々が躍動する等、活気ある中心市街地の再興を図る。
(5)交通計画	①まちなかの賑わい創出の観点から、歩行者等の交通導線を確保するとともに、必要な自転車駐車場の台数を確保する。 ②公共交通機関との結節や利便性の向上を検討する。 ③自動車利用による身障者、乳幼児連連れ、高齢者等を想定し、キャンピーやピロティ等の設備を検討する。 ④市民交流センターに隣接する自動車駐車場の確保に努めるとともに、ピーク時対応等については市役所等の近隣の公共施設駐車場の活用も視野に入れながら交通誘導に努める。

【参考】ゾーニングイメージ (出典：基本構想)

